

# DHJ60-3

## 標準装備品

### ■本体関係

- スピードコントロール(微速含む)
- 前照灯
- 昇降ステップ(足廻り、キャブ)
- サイドミラー
- 電動式燃料ポンプ
- エアコン
- 時計付AM/FMラジオ
- 前面窓間欠ワイパー
- 前面下窓及び天窓ワイパー
- ウインドウォッシャー(前面窓)
- ブロンズガラス
- フロアマット
- フットレスト
- シガレットライター
- 水準器
- ラダー(本体後端右側取付)
- 運転室側アンダーカバー
- 天窓ガード
- ハウス上手摺
- マイク&スピーカ
- 標準付属工具
- 標準予備品

### ■安全装置

- 旋回ロック
- 旋回警報(ブザー、フラッシャー)
- ブレーキ掛け忘れアラーム
- 電動式ドラムロック(主巻、補巻、ブーム)
- エンジン停止時自動ブレーキ
- OKモニタ
- ブレーキペダルカバー(レバーと同色)
- ハウス上面ノンスリップシート
- ゲートロック
- フリーフォールインターロック
- フリーフォール表示灯
- 中立時ネガブレーキ
- キー式解除スイッチ
- クレーン検査
- 過負荷防止装置
- M/L外部表示灯(3色)

### ■フロント関係

- 14.68mリーダ
- φ355mm×9m×4段式ロッキングケリーバ
- ケリーロープ(φ25×70m)
- 補巻ロープ(φ24×80m)
- サードロープ(φ20×50m)
- フレーム角度計
- フック過巻防止装置
- 拡底工法用改造
- 施工管理装置
- ロータリーテーブル
- 8tフック(スィベルジョイント付)(補巻)
- 5tフック(サード)

## オプション装備品

### ■本体関係

- サイドステップ(ハウス全周)
- ツールボックス
- ドラムミラー
- ドラムライト
- 折り畳み式ステップ(サイドフレーム)
- サンバイザー
- ヒーター

### ■安全装置

- カメラ&センサ(後方監視用)
- 親綱ポール

### ■フロント関係

- 摩擦ケリーバ(φ300×10.5m)
- ケリードライブアダプタ(φ355→φ300)
- フレックスカップリング
- パワージャッキ用プラケット
- ホースガイド
- バケット用アダプタ
- 13tフック(2本掛け)



※オプション装備機

# NISSHA DHJ60-3

## 多目的掘削仕様機

最大掘削回転トルク：196kN-m



オフロード法[少数特例]対応  
97年基準低騒音型認定



**日本車両製造株式会社**  
https://www.n-sharyo.co.jp/

建設機械本部 / 鳴海製作所 / 営業総括部  
〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地 TEL(052)623-3312 FAX(052)623-4349

●本カタログに掲載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。●本機の取り扱いに際しては取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。●お客様による本機の改造、他機器・機材の付加については保証範囲外としますので、必ず弊社にご相談ください。

■お取り扱い店

CAT.No.163B (このカタログの内容は2024年11月現在のものです)

New

# クレーン能力の範囲拡充化

リーダ前傾角度4°~10°

ますます高度化・難度化する  
都市部狭隘地施工の切り札。

既存杭の撤去から、

場所打ち杭施工まで行うことが可能です。

# DHJ60-3 多目的掘削仕様機、登場。

信頼性と実績のあるコンパクトな  
三点式杭打機DHJ60-3をベースとし、  
多目的掘削と補助吊り可能な専用リーダを装着。  
抜群の安定性と小旋回性を実現しました。  
都市部狭隘地での各種施工に威力を発揮します。

## 施工能力

### ■ケリードライブ掘削能力

掘削装置の駆動モータはステップレス (SL) 制御※を用いており、作業・土質に合わせて回転トルク、回転数の調整が可能です。

※ステップレス (SL) 制御とは、無段階でスムーズな速度制御のことです。

#### ●回転トルク

通常時:66~196kN・m (6.7~20tf・m)

低トルク時:33~98kN・m (3.3~10tf・m)

#### ●回転数 (※負荷により変化します)

1速:5.5~15.9min<sup>-1</sup>

2速:10.6~31.9min<sup>-1</sup>

#### ●ケリーバ

ロッキングケリーバφ355mm×4段に対応しています。

専用アダプタにより、摩擦ケリーバφ300mm×4段にも対応可能です。

## ■施工状況



### ●ケーシング掘削

ケーシング最大径はφ2000mmまで可能です。ケーシングとの連結用フレックスカップリングはオプションとなります。



### ●アースドリル工法 軸掘り施工

最大軸掘り径はφ2000mmまで可能です。



### ●アースドリル工法 拡底杭施工

拡底バケットはBK13-III型まで装着可能で、同等サイズの各種拡底バケットにも対応可能です。また拡底管理装置を標準装備しています。

## 多目的掘削仕様機

# DHJ60-3

## 充実の機能と装備

### ■ラック付専用リーダ M20C型

最適設計により、実績と信頼性の高い角型を採用しました。補助吊り作業が可能なクレーン要件を満たしています。リーダはシリンダの伸縮により、前方10°、後方90°、左右各3°の可動範囲を持たせ、杭芯合わせ、クレーン作業時に効果的です。

### ■ロッキングケリーバ 標準

φ355mm×9m×4段式のロッキングケリーバを搭載。確実な施工が可能です。



### ■フレックスカッピング オプション

φ2000mmまでのケーシング掘削用として、ご要望に応じ、準備可能です。障害物の撤去工事にも威力を発揮します。

### ■拡底管理装置 標準

HND拡底杭施工用の管理装置を標準装備としました。

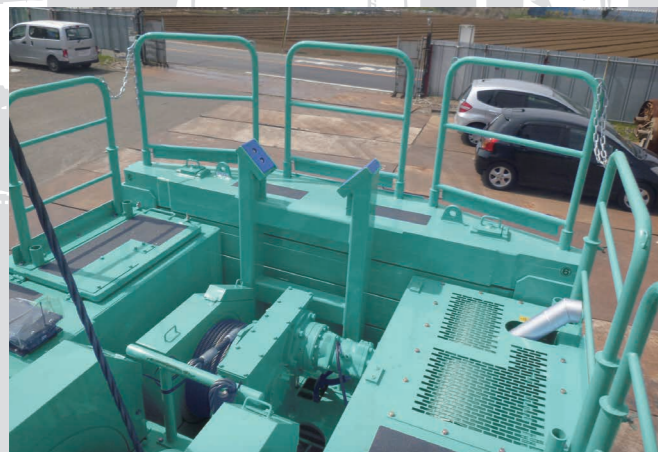
## 補助吊り能力

補助吊り機能を標準装備とし、他の機械との優位性を持たせ、リーダの前傾角度を4°~10°の範囲で設定することにより作業性が高まります。但し、補巻の2本掛はオプションとなります。

### 1本掛け



### 2本掛け



### ■ハウス上手摺 標準

作業時転落防止と物品落下防止用に、ハウス上に幅木付の手摺を設けました。



### ■ゴムパッド 標準

施工場所での走行音低減と、施工中のグリップ効果を持たせるため、標準装備としました。

### ■補巻ドラム ロープ径 φ24mm

#### ●最大吊り能力

- 1本掛け時 リーダ前傾角度10°  
8.0t×6.2m(ケリーバ付、ケリードライブ付)
- 2本掛け時 リーダ前傾角度10° **オプション**  
13.0t×5.5m(ケリーバ無、ケリードライブ付)

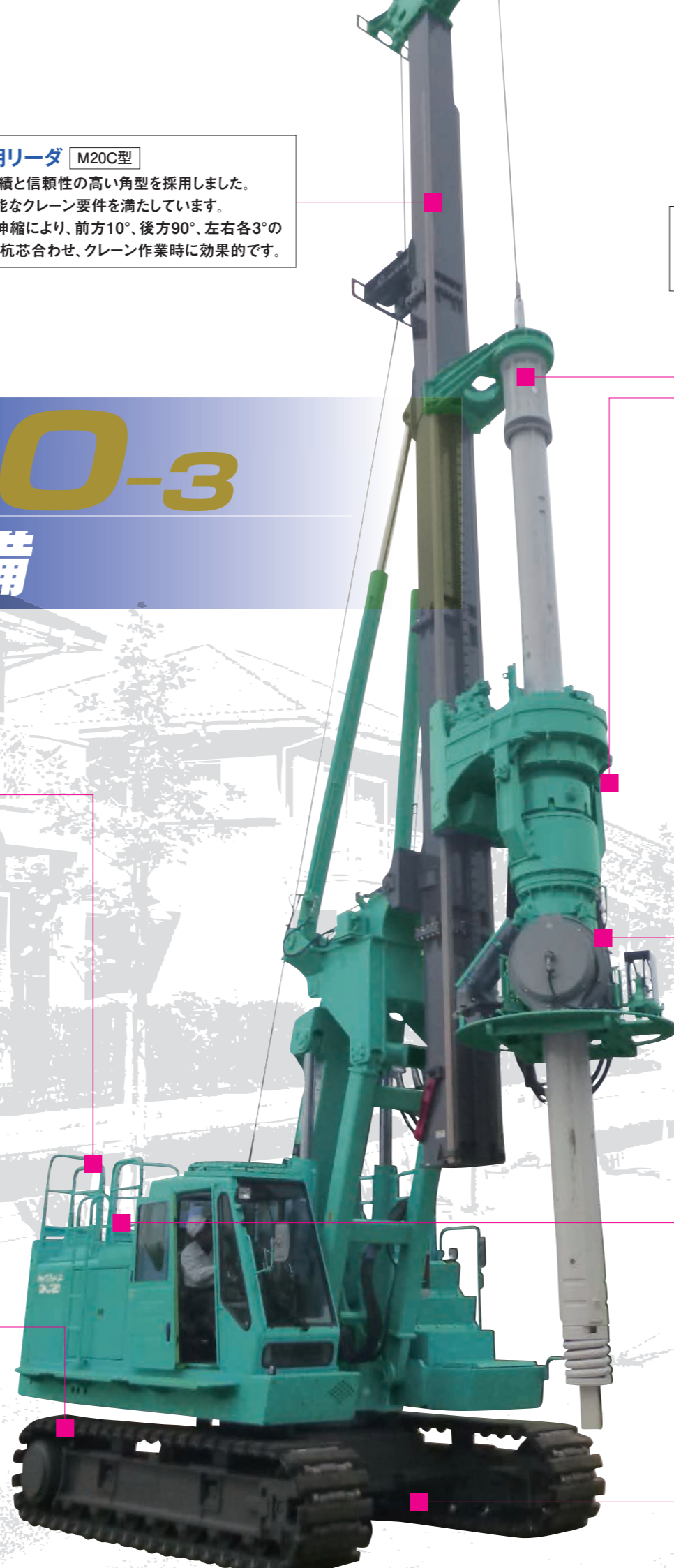
### ■サードドラム ロープ径 φ20mm

#### ●最大吊り能力

- 1本掛け時 リーダ前傾角度10°  
5.0t×6.9m(ケリーバ付、ケリードライブ付)
- ※能力の詳細については、定格総荷重表をご参照ください。

### ■パワージャッキ用ブラケット オプション

ご要望に応じ、パワージャッキ装着用のブラケットを装備します。



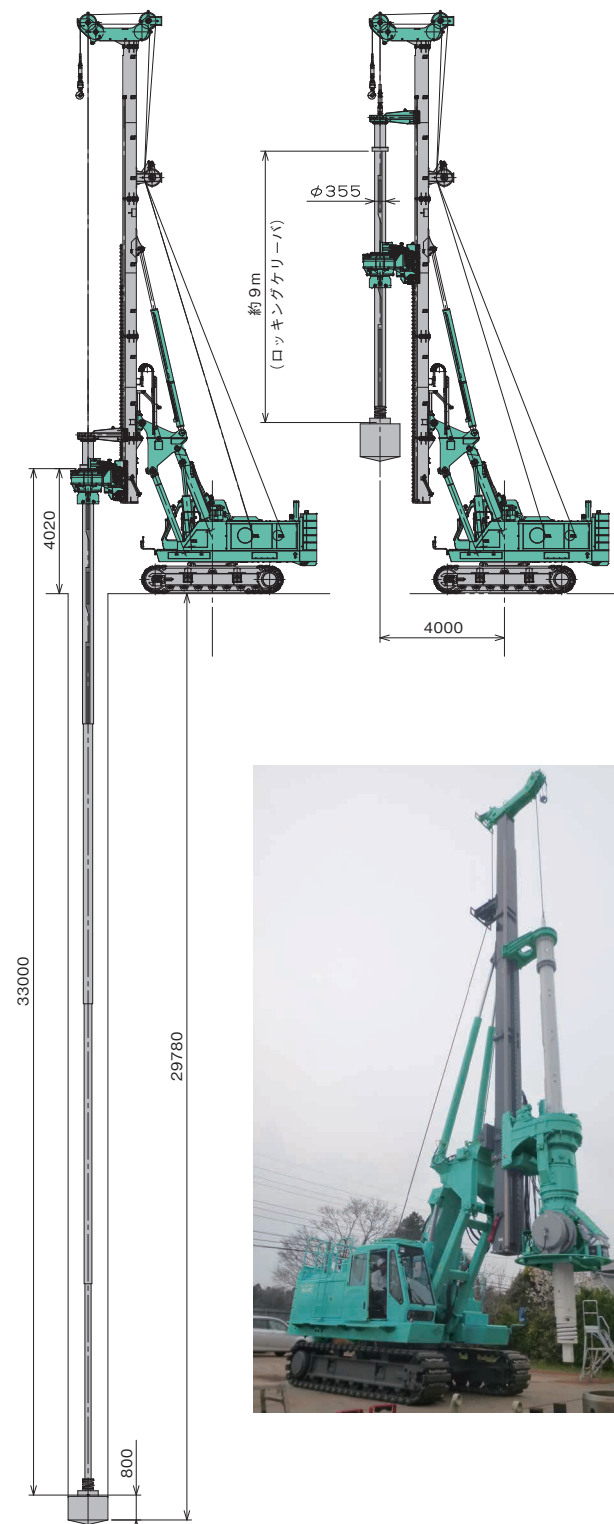
# DHJ60-3

## ■本体仕様

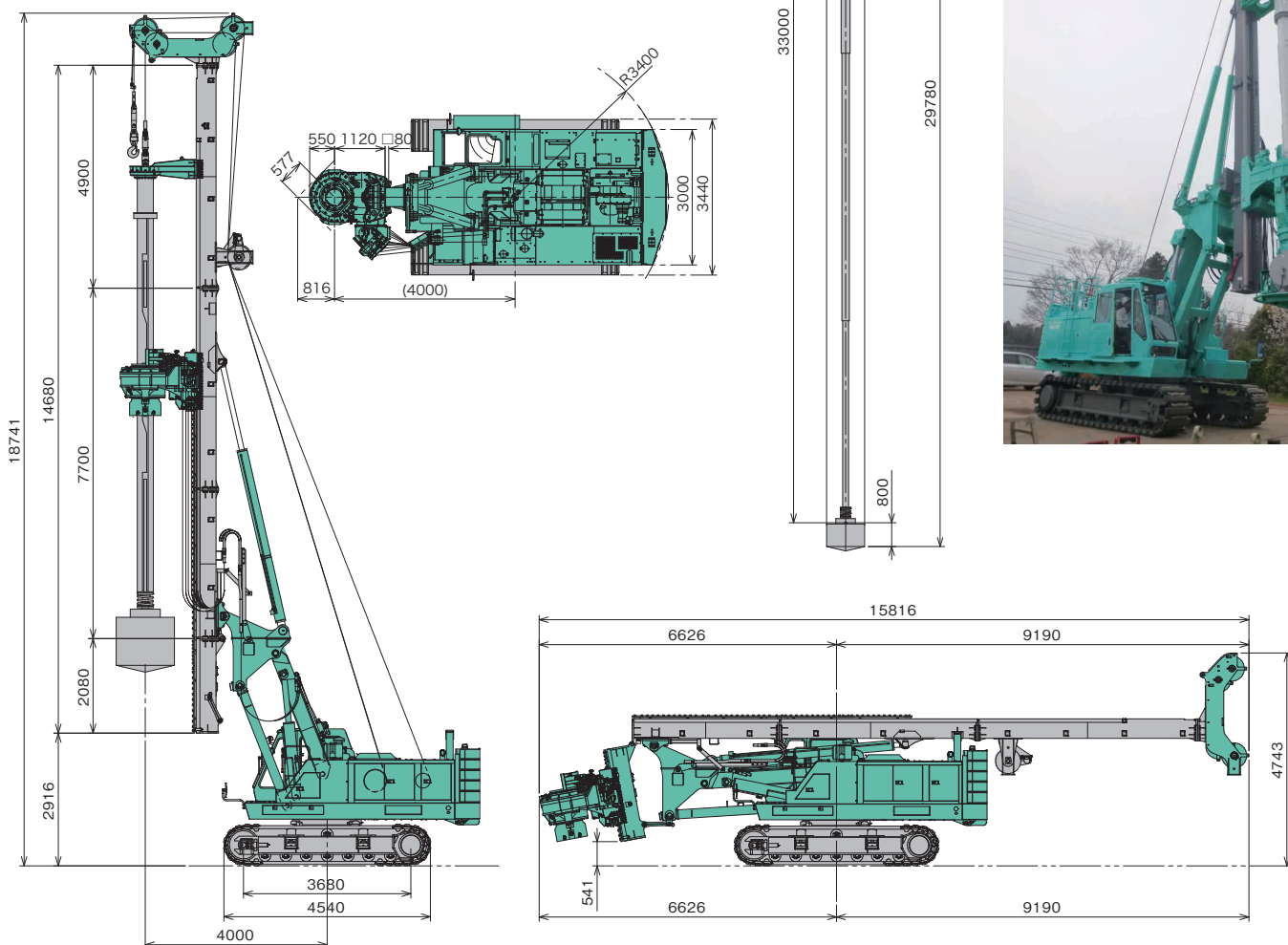
フロント	リーダ形式	M20C(ラック付、角型、角ガイドリーダ)	
	リーダ長さ	14.68m=2.08m+7.7m+4.9m	
	リーダ可動範囲	前10° 後90° 左右各3°	
	ケリードライブ昇降ストローク	6950mm	
掘削能力および装置	ケリードライブ 掘削能力	回転 通常時	66~196kN・m(6.7~20tf・m)
		低トルク時(小型バケット使用時)	33~98kN・m(3.3~10tf・m)
		回転数	1速 5.3~15.9min <sup>-1</sup> ※ 2速 10.6~31.9min※
	ケリーバ(ロッキングタイプ)	φ355×9m×4段	
	ケリーバ許容トルク	145kN・m(14.8tf・m)	
	ケーシング最大径(軸掘り最大径)	φ2000mm	
最大掘削深度(軸掘りバケット使用)	29.8m		
昇降装置	昇降方式	ラック&ピニオン方式	
	昇降速度	4.3/5.5m/min※	
	昇降力	引抜き力	201/98kN(20.5tf)
押し込み力		115/56kN(11.7tf)	
ウインチ性能	主巻	最大巻上力(1層目ラインプルφ25mm)	155kN(15.8tf)
		ロープ速度	30~59m/min※
	補巻	1本掛け補助吊り最大荷重(φ24mm)	8.0t
		2本掛け補助吊り最大荷重(φ24mm)	13.0t(オプション)
	サード	1本掛け補助吊り最大荷重(φ20mm)	5.0t
		ロープ速度	57.1m/min※
本体関係	エンジン型式	日野J08C-UT(オフロード法少数特例)	
	定格出力	147kW(200PS)/2100min <sup>-1</sup>	
	全装備最大質量(拡底バケットBK13-III装着時)	69.1t	
	接地圧(全装備最大質量時)	132kPa(1.35kgf/cm <sup>2</sup> )	

※印は、負荷により変化します

## ■最大掘削深度



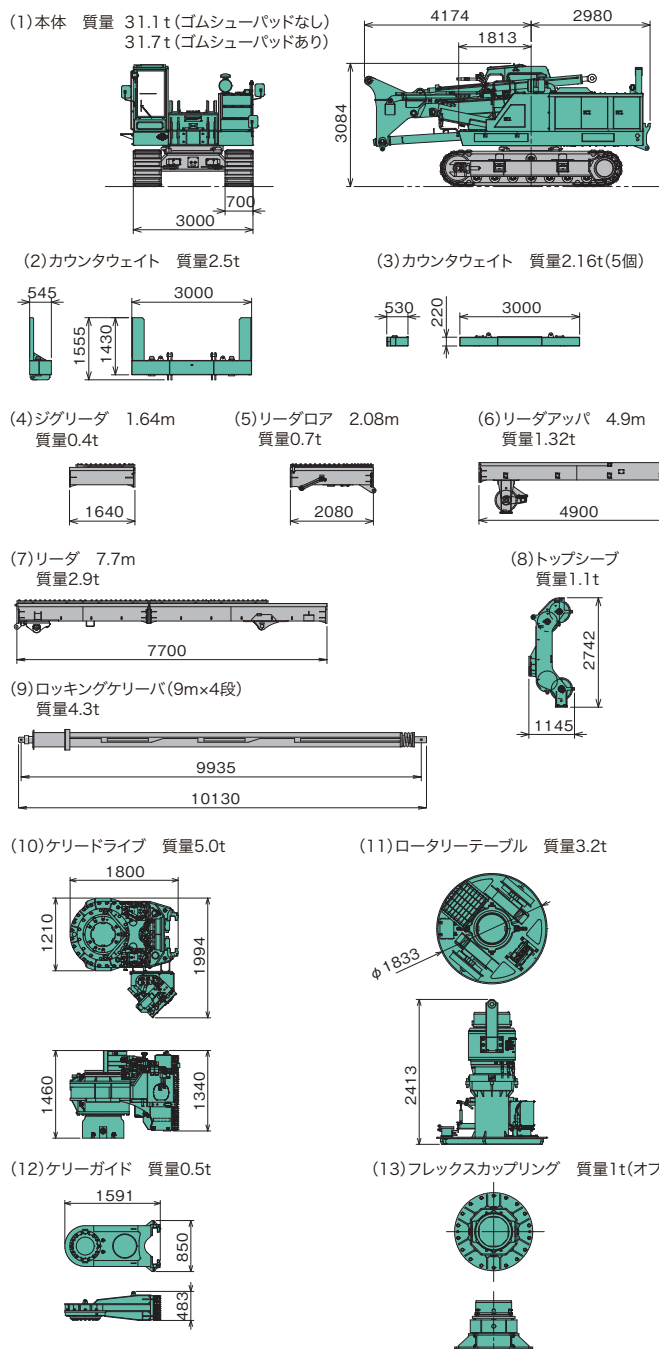
## ■本体外観図



## ■概略分解寸法及び質量

主要部品名	質量(t)	寸法(m)長×幅×高	備考
本体	31.10	7.154×3.00×3.084	リーダサポート、ステー ゴムシューパッドを含む
カウンタウイト(最下部)	2.50	3.00×0.545×1.555	1個
カウンタウイト(2~6段目)	2.16	3.00×0.53×0.22	全5個
ジグリーダ1.64m	0.40	1.64×0.57×0.557	
リーダロア2.08m	0.70	2.145×0.616×0.707	
リーダ7.7m	2.90	7.765×1.054×0.815	
リーダアッパ4.9m	1.32	4.90×0.57×1.25	
トップシーブ	1.10	2.742×0.60×1.145	
ケリードライブ	5.00	1.994×1.80×1.46	
ロータリーテーブル	3.20	φ1.838×2.413	
ケリーバ	4.30	φ0.51×10.13	ロッキングケリーバ
ケリーガイド	0.50	1.591×0.85×0.483	
8.0tフック(補巻1本吊)	0.075	0.72×0.25×0.155	リンク付
5.0tフック(サード用)	0.080	1.449×0.17×0.155	リンク付、スィベル含む

上表は本機を輸送する際の分解質量の一例です。  
本機をトレー等で輸送する場合は関係官庁の通行許可が必要となります。  
また、輸送時の寸法・質量については関係法規に従い、ご確認の上輸送してください。



## ■クレーン定格総荷重表

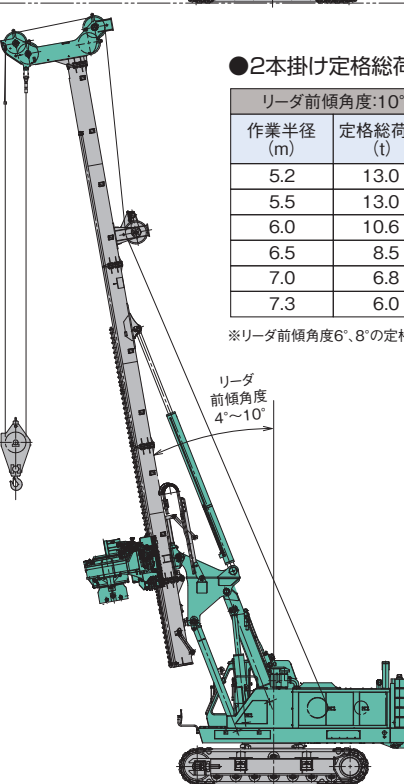
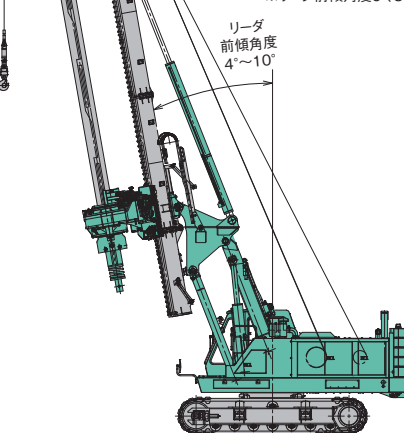
リーダの前傾角度として、4°、6°、8°、10°の範囲にて作業が可能 **NEW**

- 注意事項**
- クレーン作業は、必ずバケット、ロータリーテーブル、フレックスカップリングを取外し、リーダを前方へ4°~10°倒した状態で行ってください。
  - ケリーバ下端をケリードライブ下端より1m位下げた状態で行ってください。
  - クレーン作業時はケリードライブをリーダ主軸の位置まで下げた状態で行ってください。
  - 荷を吊った状態でリーダの前傾角度を変更しないでください。リーダの前傾角度を変更する際は、吊荷を一旦地面に置いてください。
  - 定格総荷重は水平堅土における値で、転倒荷重の78%以内及び、移動式クレーン構造規格第十四条(前方安定度)を満たしています。
  - 定格総荷重表以外の範囲では作業を行わないでください。
  - 2本掛け作業は補巻にて行ってください。
  - 2本掛け作業時は必ずケリーバを取外して行ってください。
  - 補助フック(8t、5t)の質量は約80kgです。補巻2本掛け用のフック(13t)の質量は約330kgです。

●1本掛け定格総荷重表(ケリーバ有)

作業半径(m)	リーダ前傾角度:10°		リーダ前傾角度:4°	
	定格総荷重(補巻(t))	サード(t)	定格総荷重(補巻(t))	サード(t)
5.4	8.0	5.0	4.1	5.0
5.5	8.0	5.0	4.5	5.0
6.0	8.0	5.0	5.0	5.0
6.2	8.0	5.0	5.5	5.0
6.5	6.7	5.0	6.0	5.0
6.9	5.0	5.0		
7.0	4.6	4.6		
7.5	2.8	2.8		

※リーダ前傾角度6°、8°の定格総荷重表は別途仕様書を参照ください。



## ●2本掛け定格総荷重表(オプション)

作業半径(m)	リーダ前傾角度:10°		リーダ前傾角度:4°	
	定格総荷重(t)	サード(t)	定格総荷重(t)	サード(t)
5.2	13.0	9.0	3.9	13.0
5.5	13.0	9.0	4.0	13.0
6.0	10.6	9.0	4.5	13.0
6.5	8.5	9.0	5.0	13.0
7.0	6.8	9.0	5.5	10.5
7.3	6.0	9.0	5.8	9.0

※リーダ前傾角度6°、8°の定格総荷重表は別途仕様書を参照ください。